

東嶺山だより

令和2年9月 通刊152号

355-0044 東松山市正代755-1

電話・FAX 0493-34-6555

email: semyojuji@yahoo.co.jp

HP: tosaki.web.fc2.com/index.htm

携帯 090-2446-5209

地獄と極楽の話

昔、ある所に、地獄と極楽の見学に出掛けた男がいました。最初に、地獄へ行ってみると、そこはちょうど昼食の時間でした。食卓の両側には、罪人たちが、ずらりと並んでいます。

「地獄のことだから、きっと粗末な食事に違いない」と思ってテーブルの上を見ると、なんと、豪華な料理が山盛りになっています。

それなのに、罪人たちは、皆、ガリガリにやせかけています。「おかしいぞ」と思って、よく見ると、彼らの手には非常に長い箸が握られていました。恐らく1メートル以上もある長い箸でした。

罪人たちは、その長い箸を必死に動かして、ご馳走を自分の口へ入れようとしますが、まったく入りません。イライラして、怒りだす者もいます。それどころか、隣の人が箸でつまんだ料理を奪おうとして、醜い争いが始まったのです。

次に、男は、極楽へ向かいました。夕食の時間らしく、極楽に往生した人たちが、食卓に仲良く座っていました。もちろん、料理は山海の珍味です。

「極楽の人は、さすがに皆、ふくよかで、肌もつややかだな」と思いながら、ふと箸に目をやると、それは地獄と同じように1メートル以上もありました。

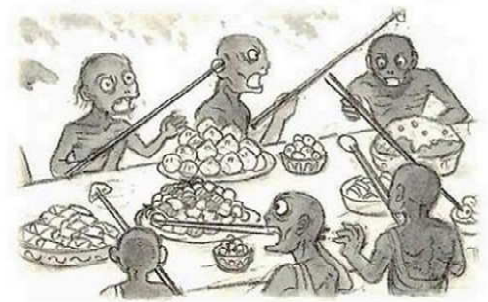
「いったい、地獄と極楽は、どこが違うのだろうか？」と疑問に思いながら、夕食が始まるのをじっと見ていると、その謎が解けました。極楽の人たちは、長い箸でご馳走をはさむと、「どうぞ」と言って、自分の向こう側の人に食べさせ始めたのです。にっこりほほ笑む相手は、「ありがとうございました。今度は、あなたにお返しします。あなたは、何が好きですか」と、自分にも食べさせてくれました。男は、

「なるほど、極楽の人たちは心掛けが違うなあ」と言って感心したということです。

同じ食事を前にしながら、地獄では、俺が俺がと先を争い傷つけ合っていて、極楽では、相手を思いやり、相手から思いやられ、感謝しながら、互いに食事を楽しんでいるのです。どちらが幸せかということは明らかなことです。

自分さえよければでは、幸せになれません。

私たちの心の中にも、残念ながら、「地獄」が潜んでいるかも知れません……。



お矢のせ

■彼岸会 ～各檀家のご先祖様を偲び、供養いたします～

お彼岸は日本独自の仏教行事で、インドにも中国にもありません。この日は、国民の祝日です。多くの祝日の中で、仏教と関係のある祝日は春と秋の彼岸の中日だけです。ちなみに秋分の日は、「先祖を敬い、亡くなった人を偲ぶ日」とされています。

彼岸の1週間は仏道に励むという意味で仏教週間とも言われています。彼岸の間中はお墓参りをして先祖を供養する日と昔から考えられ、日本人が連綿として受け継いできたこのゆかしい習慣を、子から孫へと伝えていくことは、今に生きる私たちの責務だと言えます。

歴史は古く、聖徳太子の時代にはすでに営まれていた、とされています。平安時代には『源氏物語』に彼岸の記述があります。江戸時代に年中行事となり、庶民の間に広まりました。

江戸時代には、観音巡礼や彼岸詣、彼岸講なども盛んになりました。彼岸が暦にのり年に2回、春と秋の7日間と定められたのも江戸時代になってからです。

- 日時 9月22日(月) 午前10時
- 場所 世明寿寺 本堂



■お彼岸供養の塔婆を受付

塔婆は、サンスクリット語の「STUPA」(スツーパー)が音訳され「卒塔婆」が語源です。釈尊の滅後に、聖なる人の仏徳を永遠に仰ぎ尊び、追慕と記念するための仏塔でした。そこに仏の遺骨(仏舎利)、所持品、遺髪などを収蔵したのです。私たちが一般的に塔婆と言っているのは、木製の長形の板で、上部の両脇に5つの刻みが入っています。これは仏塔を模写したもので「靈妙にして聖なる徳」が込められています。つまり、仏身そのものなのです。経文を書写した下に、「先祖代々」とか戒名を記すのは親(仏)の懷中に安住する吾子(亡き人)を表しています。ですから、塔婆は先祖・先亡を直接供養するものではなく、仏に帰依し、その功德を亡き人に回(めぐ)らす(回向)ことになるのです。そして、塔婆を立てる施主にとっては「滅悪生善処」(悪心を滅して善き境界を得る)の功德ともなります。

- 「〇〇家先祖代々精霊」と「施主名」または「〇〇(戒名)霊位」と「施主名」をお知らせください。
電話(090-2446-5209、0493-34-6555)又はFAX(0493-34-6555)
- 一塔 5000円

■今月のことば ～彼岸に心がけたい6つの徳目～

- ①布施(ふせ)(欲をかかない)
- ②持戒(じかい)(規律・約束を守る)
- ③忍辱(にんにく)(苦しみに耐える)
- ④精進(しょうじん)(正しい努力をする)
- ⑤禪定(ぜんじょう)(集中して事に当たる)
- ⑥智慧(ちえ)(正しい判断をする)

■今月の行事等

- 坐禅会・写経会 13、27日 *27日 9時 ヨガ教室が再開されます
- 秋彼岸 19～25日 *彼岸法会 22日(中日)10時
- 寺子屋 5、12、19、26日